

Listera nipponica Makino forma **viridis** Masamune et Satomi, form. nov.

Planta toto viridis. Caulis et flores non purpurascentes.—Hab. Honshu: in monte Asama, Prov. Shinano (N. Satomi, Aug. 3, 1956—Typus in Herb. Fac. Sci. Univ. Kanazawa).

forma **albo-variegata** Masamune et Satomi, form. nov. Folia ad medio albo-variegata.—Hab. Honshu: in monte Asama, Prov. Shinano (N. Satomi, Aug. 3, 1956—Typus in Herb. Fac. Sci. Univ. Kanazawa).

○鳳来寺山で採集したアカイカタケ (佐藤正己) Masami SATO: Notes on *Aseroe rubra* La Billard. collected on Mt. Horaiji, Prov. Mikawa, middle Honshu, Japan

三河の鳳来寺山は、熱帯性の蘚苔類や地衣類を産するので有名な山であるが、今夏ここで熱帯性の珍菌アカイカタケを採集したことを報告する。8月13日の昼過ぎに地衣類の採集を終り、頂上の宿院を引上げようとしたら、すぐ上手にある貸バンガローの掃除をしていた娘さんが、こんな気味の悪いものが床下にはありました、と恐る恐る割箸でつまんで紙にとつた1個のアカイカタケと、その菌蕾らしい未開のもの1個とを持つてきた。その外形は、本誌27巻4号の表紙カット図案となつた熱海市伊豆山足川町10で原寛博士が1948年6月26日に採集されたものとそっくりであつた。

アカイカタケは日本では1938年6月20日に福岡県朝倉郡宝珠山村で仲道猛男氏が始めて採集し、その後は上記の原寛博士の採集品もあり、先般の国立科学博物館のおしほ展には宮中生物学御研究所からの標本(1953年8月採集、栃木県那須産)も陳列されたが、日本ではまだまだ珍品と云つてよいだろう。私はこの標本を早速カラーフィルムで撮影してからホルマリン漬にし、菌蕾の方はそのまま大切に持ち帰り、植木鉢にいられて灌水し、恐らく世界でも類例のないアカイカタケの菌蕾からの連続生長記録をカラーフィルムで撮影しようと、8月14日水戸に帰着して以来連日見守つた。数日たつてもほとんど変化は認められなかつたので、半ばあきらめたところ、20日の夜から21日の早朝の間に菌蕾は破れ、柄がのび、頂上の盤状部からは腕を放射状に出していたのを発見した。現地で自然に展開したものに較べれば、色も淡く、全体としていじけたような感じであつたが、やはりアカイカタケであつた。(茨城大学文理学部)